



5月 園だより

恩恵幼稚園

風薫る5月です。生命力に溢れる豊かな季節。神さまからの恵みを覚え、子どもたちと共に感謝しながら過ごしてまいります。気持ちの良い日差しに後押しされて、子どもたちも大人も何か動き出せるといいですね。

年主題 共に喜んで～すべての歩みの中～

年主題聖句

「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」

コリントの信徒への手紙 I 12 : 26

月主題 動き出す



月主題聖句 (子どもたちが毎日暗唱します)

「安心して行きなさい」 マルコによる福音書 5 : 34

月のねがい

- ・与えられている時・もの・こと・人・自然などの恵みを喜び、神さまに感謝する。
- ・感じて考えて、自分のやり方で動き出し、様々なこと(遊び)に興味をもつ。
- ・周りの人に支えられながらも、自分の思いをもって主体的に生活する。

☆5月の行事予定☆

- 7日(金) 英語(ばら) 13:15～
- 11日(火) スイミング(ばら・ゆり) 9:10 出発
- 13日(木) 習字(ばら) 13:30～
- 14日(金) 顔合わせ すみれ組保護者 14:30～
- 18日(火) 絵本の読み聞かせ・職員会議
- 19日(水) 資源回収・お茶(ばら)
- 20日(木) 体操教室(ばら) 13:15～
- 21日(金) 顔合わせ ちゅうりっぷ組保護者 14:40～
- 24日(月) カウンセラー河村先生来園
※面談をご希望の方は10日(月)までにお申し込みください。
- 25日(火) スイミング(ばら・ゆり) 9:10 出発
- 26日(水) お茶(ばら) 13:30～
- 27日(木) 体操教室(ゆり) 13:15～
- 28日(金) 話し合い ゆり組保護者 14:45～
- 31日(月) リトミック(ちゅうりっぷ) 10:00～

延長保育休み：6, 13, 18, 20, 24, 27日

〈お知らせとお願い〉

○日差しの強い季節となりました。子どもたちも外遊びが増えてきます。5月より登園時も夏帽子でお願いします。

○子ども達は毎日元気に遊び、汗をかきますので、着替えの下着・洋服(ビニール袋に入れて2セット)をご用意下さい。

4月にご用意いただいたセットの長袖は半袖に替えてください。

○洋服・下着・靴下等、全ての持ち物にお名前を記入をお願いします。

○13日(木)は、ばら組は橋本千里先生に来ていただき習字を教えてください。習字用の汚れてもいい着替え(上下・靴下)をご用意ください。

○キッズリーでお知らせしましたように、親子遠足は秋に延期になりました。保護者様の顔合わせまたは話し合いを行いますのでご参加をお願いします。

14日(金) すみれ組 顔合わせ 14:30～

21日(金) ちゅうりっぷ組 顔合わせ 14:40～

28日(金) ゆり組 話し合い 14:45～

※30分程度で終わります。

○今年度もポートフォリオを使い、幼稚園でのお子様の様子をお伝えしたいと思います。お家でのお子様の様子も付箋や写真を利用してお伝えいただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

幼稚園で撮った写真は年度末にDVDに入れてお渡しいたします。

ばら組のアルバムは卒園記念として差し上げます。ゆり組・ちゅうりっぷ組・すみれ組には、ご希望の方にアルバムを年度末に実費で購入していただきます。



◎めぐみの会講演会

16日(水) 13:15～「クイズで学ぶ防災」講師 福井高専 教授 辻子裕二先生

◎4・5・6月生まれオンライン誕生会(4・5・6月生まれのお子様の保護者様にオンラインでご参加いただけます)

22日(火) 13:15～ ばら組

23日(水) 13:15～ ゆり組

24日(木) 13:15～ ちゅうりっぷ組

25日(金) 11:00～ すみれ組



5月の礼拝

月主題『動き出す』

月主題聖句

「安心して行きなさい」

(マルコによる福音書5章34節)

解説：ここに一人の女の人がいます。12年間出血の止まらない病に悩んでいます。長い期間、彼女は病気でした。さらに彼女の生活について聖書はこのように触れています。「多くの医者にかかって、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであった」

「医者にかかってひどく苦しめられ」という表現は、悪質な医者にだまされ、病気が良くなるどころか、逆に、大いに苦しめられるという彼女の生涯を描いています。

わたしたちがもう一つ注意しなければならないことは、律法では出血を汚れていると考えられていて、彼女と交際する人も汚れるとみなされるという点です。つまり彼女が長い間出血していたということは、その間ずっと彼女は友だちや知人と話すこともできず、また家族とも隔離されてきたということなのです。

あとでイエスから「娘よ」と呼ばれることから推測すると、この女性の年齢はそんなに高齢ではないと考えられますから、この女性は青春の期間を友人と楽しい会話をすることもできず、それどころか誰からもまともに話しかけられずに生きてきたということになります。

この女性はこの間に「多くの医者にかかった」というのですから、もともとはかなりの財産を持っていたということでしょう。しかし突然の不幸が彼女を襲う

のです。原因不明の病気により彼女の人生は一変します。その彼女が、イエスの噂を聞きます。イエスという人が現れ、いままでみんなが罪びとだと決めつけてきた人間を癒され、罪の赦しを宣言されているというではありませんか。彼女はこのイエスに最後の望みを託そうと決心します。ある日、群衆に紛れ込んで、イエスの後ろから近づいていき、イエスの衣に触れたのです。

「群衆に紛れこんで」ということが、彼女にとってはどんなに勇気のいる行為だったか想像できるでしょうか。その彼女が群衆の中に出て行ったのです。イエスが最後の希望だと信じて、見栄も恨みも恥も全てを捨てて、ただイエスへの期待を持ってイエスのみに行くのです。そして、後ろからそっとイエスの衣に触れるのです。すると彼女はたちまち癒されたのです。

イエスはこの人に愛を込めて「娘よ」と呼びかけました。そして、「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。元気に暮らしなさい」とこの人を送り出したのです。

不安の中にいる人がいるかもしれません。けれども、そんなわたしたちに、イエス・キリストは「安心して行きなさい」と語りかけています。

(「キリスト教保育」誌5月号
要約・抜粋)

